

【 臨床研究に関する情報の公開 】

糖尿病で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	肝硬変を有する患者に対してGLIM基準を用いた栄養評価の実態（後ろ向き調査）
2. 研究の対象者	2025年2月から2025年9月の期間に当院、消化器・肝胆膵内科に入院し、肝硬変を有している方
3. 研究期間	承認後 ～ 2026年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 栄養管理室 研究責任者：関西電力病院 栄養管理室 眞壁 昇 主任研究者：同 栄養管理室 鴻上寛太 共同研究者：同 栄養管理室 茂山翔太、高橋拓也 同 糖尿病・内分泌代謝センター 桑田仁司 同 消化器・肝胆膵内科 染田仁 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	当院では、入院される前患者さんを対象に「GLIM（グリム）基準」という、国際的に使われている栄養評価の方法を使用し、入院時および退院時に栄養評価を行っております。このGLIM基準は臨床現場において栄養評価と予後についての研究は少なくその実態は明らかとなっていません。本研究ではGLIM基準を用いて肝硬変の患者さんの入院時と退院時の栄養状態を調べ、栄養状態の変化やその原因、再入院との関係について検討します。この研究を通じて、今後の栄養管理の質の向上を目的としています。
6. 研究の方法	2025年2月1日から2025年9月30日の期間で当院の消化器・肝胆膵内科に入院し、肝硬変を有する患者さまを対象とします。電子カルテの情報を用いて入退院時のGLIM基準を用いた栄養評価と年齢、性別、入院歴、入院期間、低栄養の理由の関連を後方視的に調査します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテの情報からGLIM基準での低栄養診断、年齢、性別、入院歴、入院期間、低栄養の原因を利用します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は外部と遮断された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは同じく電子カルテ端末上のパスワード管理されたフォルダ内に研究公表後5年間保管し、保管期間を終えるとデータ消去し、複数名にて確認を行います。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 本研究は、既存の診療情報を用いて行う後ろ向き研究であり、研究対象者から文書または口頭による同意を得ることが困難なため、オプトアウト方式にて実施します。研究への参加を希望されない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 栄養管理室 鴻上寛太
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 栄養管理室 鴻上寛太 電話：06-6458-5821（代表）